

平成25年度

まちづくり懇談会実施結果報告書

(御幸ヶ原地区)

宇都宮市総合政策部広報広聴課

**平成25年度 第10回
まちづくり懇談会《御幸ヶ原地区》実施結果報告書**

この実施結果報告書は、まちづくり懇談会《御幸ヶ原地区》における発言の要旨をまとめたものです。

- 1 開催日時 平成26年3月17日（月）午後6時30分～午後8時
- 2 開催場所 御幸ヶ原町公民館
- 3 参加者数 62人（市出席者除く）
- 4 市出席者 市長，総合政策部長，広報官，地域まちづくり担当参事，東市民活動センター所長，土木管理課長，広報広聴課長

5 懇談内容

(1) 地域代表あいさつ

御幸ヶ原地区連合自治会・御幸ヶ原まちづくり協議会会長

(2) 市長あいさつ

(3) 地域代表意見

No.	テ ー マ	所 管 課
1	奈坪川改修に伴う河岸の活用について	河川課
2	松下電子工業跡地に JR 新駅設置の請願について	地域政策室 交通政策課 L R T 整備推進室

(4) 総合計画の6つの柱に基づく意見交換

テ ー マ		
市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために		
<ul style="list-style-type: none"> (1) 高齢期の生活を充実する (2) 愛情豊かに子どもたちを育む (3) 危機への備え・対応力を高める 		
No.	意 見	所 管 課
1	御幸ヶ原通りについて	道路保全課

2	御幸ヶ原通りの信号機について	道路保全課
3	高齢者のボランティア活動のポイント制度について	高齢福祉課 子ども未来課 生涯学習課

(5) 自由討議

No.	意見	所管課
1	公共施設の充実について	交通政策課 保健福祉総務課 高齢福祉課 生涯学習課 スポーツ振興課
2	溢水対策について(1)	道路保全課 河川課 下水道建設課
3	自治会加入について	みんなでまちづくり課
4	御幸ヶ原小学校への防火水槽の設置について	消防本部警防課
5	溢水対策について(2)	下水道建設課 下水道管理課
6	自転車専用道路について	観光交流課 道路保全課
7	河内生涯学習センターへの舞台装置の設置要望	自治振興課 生涯学習課
8	御幸ヶ原通りの表示看板の設置	土木管理課

(6) 来賓あいさつ

地区居住市議会議員 舟本 肇 氏

(7) 市長謝辞

■地域代表意見 1 (要旨)

テーマ	奈坪川改修に伴う河川の活用について
------------	--------------------------

奈坪川は、御幸ヶ原地区の西側を南北に流れる川である。30年前は蛍の飛び交う川で、子どもたちの遊び場として、また、親たちの涼みの場所として、多くの人を訪れ、語り、一時の涼を楽しんだ。

現在の姿になってからは、護岸が高くなり、川も遠い存在になってしまい、更に、数年前まで活動していた河川愛護会が解散してからは、堤防も雑草で覆われ荒れ放題である。

奈坪川は、現在、下流から改修工事が行われており、数年後には御幸ヶ原区域も改修されるものと推測される。その改修を釜川のような二層式にして、河岸を以前のように子どもが遊べる場所や自然観察できるビオトープ・河岸遊歩道等を整備し、より多くの人に親しんでもらえるような水上公園のある川にしてほしい。

昨今、携帯電話やゲーム機の普及で、対話の出来ない人、人と接することが苦手な人が増えていると聞く。まちづくりを推進するためにも、「人を集める場所」ばかりでなく、「人が集まって来る場所」が大切だと考える。そのためにも、この地区ならではの川との付き合い方、川を最大限生かした利用方法としての改修をお願いする。

回答	所管課：河川課
-----------	----------------

【市長】

奈坪川は、治水機能向上を目的として、平成20年度に一級河川に指定し、本格的な改修工事に着手している。現在、JR宇都宮駅東地区のトンネル工事と下栗町の護岸整備工事を同時に行っている。また、競輪場通りの上流の今泉新町、東町においては、駅東地区完了後に工事着工するため、用地の取得を行っているところである。河川は、下流から工事を行うことが原則であり、それに合わせて順次整備しているが、御幸ヶ原地区における整備については、下流部の整備後、設計に実際入っていきたいと考えている。

また、河川は、治水機能だけを持たせれば良いというものではなく、地域の方々の憩いの場や親水性といったものも整備していかなければならないと思う。どこまで整備できるか分からないが、今後、設計等に入っていく中で、皆様の意見をいただきながら進めていきたいと思う。

次に、河川の流れを阻害する雑草などの繁茂についてであるが、年に1回、業者へ草刈りを発注しており、市においても日常のパトロール等を行っているが、何かお気づきの点があれば、直ぐ連絡していただきたい。

なお、河川愛護会が無くなってしまったということであるが、川を愛する気持ちを子どもたちにも繋げていきたいと考えているので、河川愛護会の復活をお願いしたい。

■地域代表意見 2 (要旨)

テーマ	松下電子工業跡地に JR 新駅設置の請願について
------------	---------------------------------

平出工業団地にある旧松下電子跡地に JR 新駅設置を考えていただきたく、地域住民を代表してお願いします。

市長は、新交通システム L R T の導入を目指しているが、以前、この市長との懇談会の時、「L R T は東西だけなのか。東西だけなら私たちには関係ない」との質問に対し、市長は東西の路線ができた後には、環状線沿いにも L R T を設置する構想があると回答した。

つまり、J R 宇都宮駅を中心に東西の L R T、南北の東北線、外周を回る L R T が大きな動線になるという構想かと思うが、外周の L R T と東北線の交差するところに双方の駅を設置し、乗り換えできるようにすることは大変重要なことであり、絶対に必要なものではないかと考える。

例えば、外周の L R T を平出工業団地の産業道路を通るように設置し、松下電子跡地に双方の駅を設置すれば、L R T の利便性は非常に大きなものになり、利用者数も大きな数になるかと思う。

駅設置にかかる費用の協力も、工業団地の工場や地域周辺の商業関係会社などから得られるのではないかと考える。

空き地になっている今こそ将来を見据え、周辺地域と宇都宮市全体の発展のためにも、ぜひとも J R 新駅設置を進めていただきたい。

回答	所管課：地域政策室、交通政策課、L R T 整備推進室
-----------	------------------------------------

【市長】

L R T だけではなく、鉄道やバス、地域内交通、自転車などが結びつき、乗り換えをすれば、どこにでも移動することができるまちをつくらせていきたいと思っている。これからは公共交通がなくてはならない時代になることから、公共交通を上手に使うことが必要になる。今から公共交通を使う習慣をつけていただきたいと思う。

L R T については、まず、J R 宇都宮駅から東側の清原工業団地、テクノポリスセンターまでを整備していきたいと考えている。その後、西側の桜通りまでの整備を行いたいと思っている。

また、真岡鉄道と結節し、栃木県全体を60分でどこにでも移動ができるようにするという県の60分構想のまちづくりについて、宇都宮市が中心になってやるべきだという声もある。また、今後、国体やオリンピックがあり、オリンピックの合宿所を宇都宮などに誘致する構想も県から出ているようである。県では総合スポーツゾーンとして、競馬場跡地を含め、一大スポーツゾーンを整備するという話があり、車だけでは対応しきれないので雀宮駅と西川田駅を L R T で結ぶべきだなど、様々な意見が出ている。

これらを実現することは、宇都宮の都市力を上げ、税収を上げることになることから、人口も減りにくくなると思う。地域の方、地元の方の意見をたくさんいただくと、市

もやり易い面がある。夢のような話であるが、このようなことが一つ一つ計画通りに進み、宇都宮環状線にLRTの内回り外回りができれば素晴らしいことだと思うので、さまざまな意見をいただきながら、LRTの整備を進めていきたいと思う。

JR駅の新設について、JR宇都宮駅と岡本駅の間やJR宇都宮駅と雀宮駅の間の間隔がありすぎるのが、宇都宮の公共交通を発展させることができなかつた要因の一つだと思うが鉄道事業者に了解していただかないと新駅の設置はできない。LRTが環状線を通っても通らなくても、新駅を設置することについては、都市の品格を上げるだけでなく、公共交通の利用促進にもつながると思うので、是非JRへ話をしたいと思う。新駅の設置には、利用者数などの様々な制約があり、維持管理等も発生することから、JR大宮支社管内では、最近では4駅しか整備されていないそうであるが、JRへは私からも折に触れて話をしていきたいと思う。

■総合計画の6つの柱に基づく意見交換（要旨）

テーマ	市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために (1) 高齢期の生活を充実する (2) 愛情豊かに子どもたちを育む (3) 危機への備え・対応力を高める
------------	---

総合計画は、宇都宮市が進むべき「まちづくりの方向性」を見定め、それに向かって取り組んで行くための指針であり、宇都宮市における「まちづくりの最も基本となる計画」である。市はこの計画に基づき、様々な施策・事業を推進していく。

(1) 高齢期の生活を充実する

超高齢社会は既に訪れており、3人に1人が65歳以上となっている。医療の発達により寿命が延びており、これからは健康寿命を延ばすことが必要とされている。平均寿命は、女性が86歳、男性が79歳であるが、女性の寿命が86歳まで延びても、健康寿命は73歳であり、13歳の開きがあることから、寝たきりにならず、なるべく健康に寿命を全うできる社会をつくっていきたいと考えている。

健康な人も健康でない人もお互いに支え合いながら、元気に地域の中で生活ができる高齢化社会をつくるため、「市民の皆様が、自らの健康づくりに積極的に取り組み、充実した保健・医療サービスの提供を適切に受けています」という目標を設定した。

国も在宅介護にシフトしており、在宅介護は難しいことだと思うが、行政としても事業者の力を借りながら、在宅ケアを中心にした高齢化社会をつくり上げていきたいと考えている。

「高齢者の社会参画の推進」については、定年を迎えたが、元気で地域に貢献できるが何をすればよいのか、どこに行ったらよいのかが分からないという方が大勢おり、そのような方の窓口になるために、宮シニア活動センターを設置している。

「認知症の高齢者等対策の充実」については、講習などを受けていただき、認知症の方と突然出会ったとしても、しっかりとケアができ、適切な対応ができる市民を増やす取組を行っている。

「高齢者がボランティア活動へ参加している割合」を施策指標として明記しているが、高齢者がボランティア活動や地域に貢献した場合にポイント付与し、貯まったポイントを自分の介護費用や公共施設を使用したときの費用に充てられるポイント制度を来年度から始めたいと考えている。

(2) 愛情豊かに子どもたちを育む

少子化により高齢化率は高くなっており、特にゼロ歳から14歳までの年少人口が9年後には約6,600人減少する状況にある。また、核家族化が進んでいることから、世代構成が変化し、家族や地域で子どもを育てていくやり方が分からない、人間関係を大切にすることができない、という時代になってきた。

P T Aや先生方だけでは子どもたちを育む環境をつくるのが難しいことから、「地域社会が一体となって、子育て・子育ての支援に取り組み、子育て家庭が愛情を持って安心して子どもを生み育て、子どもがいきいきと子どもらしく育っています」という目標を設定した。

目標達成に向けた主な事業の「妊娠・出産に対する支援の充実」については、妊娠をしても検診に行かない方がいるので14回まで検診の助成をして、検診を受けずに出産する人を減らす対策を取り、出産後も2か月まで医療費の助成を行っている。

現在、核家族化により祖父母が遠くに住んでいるので子どもの相談ができない母親がたくさんいる。市では「こんにちは赤ちゃん事業」を行い、家庭を訪問して子育ての状況や育児で困っていることや悩みごとなど様々な話をしている。

また、生後3か月の検診に行かない方が増えており、検診に行かないと、病気の発見が遅れたり、発育等の遅れに対する対応が出来なくなるので、「すこやか訪問事業」を行い、検診を受けていない家庭へ訪問して様子をうかがい、適切な処理をすることも行っている。

(3) 危機への備え・対応力を高める

東日本大震災以後、市民の方々も危機感を持ち、それぞれの地域の中で様々な対応策を取っていただいている。市民、地域、行政の危機への備え、対応力を高め、地震、風水害をはじめとする様々な危機が発生した場合に、適切な行動が出来ることを目標として掲げた。

目標を達成するための主な事業は「I C T等を利用した情報伝達体制の確立」であり、市はM C A無線を避難所や消防団などに配置し、適切に情報を伝達し、適切に行動を取る体制を現在整えている。また、災害現場の映像をリアルタイムで送信し、現場を把握することも来年度から拡充したいと思う。

既に、自主防災会を中心とした各地区の防災訓練を行っている地区もあるが、全地域で、回数も多く行っていただき、地域の方々が一人数でも多く参加をしていただける環境を作って行きたいと考えている。

発言 1 御幸ヶ原通りについて

御幸ヶ原通りのスーパーオータニを北進すると、公民館へたどり着く。そのまま直進するとその先の角の菊池歯科の所の歩道に至り、歩道に乗り上げてしまう。この通りは当然2車線になっているが菊池歯科の所の歩道は車道の道幅と同じくらいになっている。

道幅を変更出来ないなら、早急に光るテープを付けた柵を作り、車が歩道に乗り上げてしまわないようにしていただきたい。改善について早急をお願いする。

回答 所管課：道路保全課

【市長】

道路が一直線に整っていない地域がたくさんある。道路整備よりも先に住宅が建ち、住宅街が出来てしまったことが原因だと思うが、これだけの家が立ち並んでいると土地を買収して道幅を合せるのは難しいので、提案いただいた反射板などを作り、安全性をすぐに確保したいと思う。意見をいただきながら進めたいと思うので、後で市がうかがって対応したいと思う。

【後日対応】

- ・5月21日に御幸ヶ原連合自治会長と面談し、安全対策について協議を実施した。
- ・6月21日に安全性確保のため、ポストコーンの設置と交差点内の自動車誘導ラインを表示した。

発言 2 御幸ヶ原通りの信号機について

御幸ヶ原通りのサンクスがある丁字路から国道4号方面へ向かう道路の途中に交差点があり、押しボタン式の信号があるが、当該交差点の南から北進した時に信号機が全然見えない。赤信号かどうかも分からない状態なので、普通の信号機に変えていただければありがたい。通りを東西に走る時は問題ないが南北に走る時に信号機が見えない。最近、大きな事故はないが、小さな接触事故は起きており、通学路にもなっていることから非常に危険なので市で対策を考えていただきたいと思う。

回答 所管課：道路保全課

【市長】

信号機の対応は警察の所管になるので、どのような対応が一番良いのか、まずは現場を見たいと思う。その中で市がやれることは市が行う。例えば信号機を変えることは県警になるので、県へつなぎたいと思う。まずは現場を見させていただきたい。

発言 3 高齢者のボランティア活動のポイント制度について

高齢者のボランティア活動をポイント制にすることは大変良いことだと思う。そこに子ども達が高齢者のお手伝いをしたらポイントを付けるなど、高齢者だけでなく子ども達に

もそうしたポイント制を導入したらどうだろうか。

回 答	所管課：高齢福祉課，子ども未来課，生涯学習課
------------	-------------------------------

【市長】

小さな頃からボランティアの精神や高齢者を労わる気持ちを持ち、当たり前に行うことは素晴らしいことだと思うので、ポイント制が良いかも含めて子ども達に参画をもらう環境をどうすれば整えられるのかを少し考えさせていただきたいと思う。素晴らしい提案であるので早速持ち帰らせていただきたいと思う。

■自由討議（要旨）

発 言 1	公共施設の充実について
--------------	--------------------

御幸ヶ原地域は住宅が密集しているが、その反面、スポーツ施設や図書館や保健施設や老人施設のような公共施設が全くない。コミュニティセンターをつくっていただき、有効活用しているが、御幸ヶ原地域の御幸町や豊郷地区など広範囲で考えると公共施設がなく、自分も高齢者なので、高いバス代をかけて施設まで行くことは時間とお金がかかってしまい、恵まれた所に住んでいる人たちと比較するとハンデを感じる。先ほど挙げた公共施設の一つでもいいので実現してほしい。

回 答	所管課：生涯学習課，交通政策課，保健福祉総務課，高齢福祉課，スポーツ振興課
------------	--

【市長】

図書館や公園や体育館を各地域に一つ設置することについて、出来るものと出来ないものがあるが、特に図書館などは全地域でうまく対応しながら使っていただけるように配置している。

この地域は東図書館や河内図書館が半径4キロメートルの中に配置し利用出来るようにしているが、中には4キロメートルの範囲の中に入らず、図書館に全く縁のない地域もある。御幸ヶ原については半径4キロメートル内に図書館があると思うので、上手に活用させていただきたいと思う。

なるべく公共交通を充実させ、乗り換えは必要になるが公共施設を含めた様々な民間の施設も利用が出来る環境を作っていきたいと思う。また、ICカードを利用して70歳以上の方や障がい者の方やお子さんにもなるべく低料金で利用が出来る公共交通を作っていきたいと思う。

現在も70歳以上の方は千円負担でバスカードを交付させていただいている。

更に良い環境を作っていくので上手に活用しながら利用させていただきたいと思う。

発言 2 溢水対策について（1）

溢水対策について、泉屋の前を東西に走る道路は大雨が降ると道路が冠水してしまい、住民は非常に困っている。今までも対策をお願いしているが、市はこの対策についてどのように考えているのか伺いたい。

回答 所管課：下水道建設課，道路保全課，河川課

【市長】

溢水対策については、まず河川が雨水を飲みこめるように奈坪川の河川改修を下流部分から進めている。もう一つは雨水幹線を整備することだと思うが、泉屋の前は雨水幹線を整備してその中に貯留施設をつくっており、その雨水幹線計画は「公共下水道雨水整備計画」として10年計画で作っている。その中でしっかり対応して行きたいと思うが、時間がかかるものであるので浸透柵の設置や水が浸透する舗装に徐々に変えて応急的な対応をしていきたいと思う。

また、市としても住宅への雨水貯留施設への補助制度をつくり、そうした施設も設置できるようにしている。雨水をしっかりと家の中で処理することが出来るようすれば、家の外に雨水が出てアスファルト道路を水が下の方へ向かうことが多少は防げると思うので雨水貯留浸透施設を利用していきたいと思う。

屋根から雨水を取り入れる雨水貯留施設と雨水を地下に浸透させる雨水浸透施設と浄化槽を公共下水道と接続して転用していく浄化槽転用層施設の3つの施設に対しての補助を用意しているので、これらを取り付ける方がいれば補助を使っただき、少しでも溢水が減るように協力いただきたいと思う。

発言 3 自治会加入について

各自治会において集合住宅の住人は自治会に入っていない例が多いが、市は自治会加入を条例化・宣言化するなどして市の態度を明確にすれば加入者も多くなると思う。連合自治会でも率先して自治会に加入するように年に1～2回ポスティングをするなどの活動をしているが、実態は難しい状況である。例えば、防犯灯やごみステーション等については、それぞれ単位自治会が管理しており、防犯灯の管理は市から補助金をいただいている。市が制度的な動きをしていただければ、地区の住民は共助の考え方を取り、まちづくりがますます発展していくのではないかと思うが、市の考え方を聴かせてほしい。

回答 所管課：みんなでまちづくり課

【市長】

自治会加入については、どの地域でも一生懸命やればやるほど、その自治会やまちづくり組織の方々の大きな悩みの種となっている。一生懸命にやっている方の中には、何故自分達がこんなに汗をかいているのに、全く汗もかかずにごみステーションを使い、防犯灯の下を安全に通っているのかという声がたくさんある。

そこで自治会連合会とも連携を取りながら加入率を高めている。強制力を持たせることが出来ないか、又は条例等をつくり自治会に加入させるべきだという環境を行政自らやったらどうかという意見もたくさんいただくが、自治会は任意団体であり強制力をつくることが出来ないので難しいものがある。

しかし、手をこまねていることは出来ないので自治会連合会と一緒に自治会加入促進月間や委員会をつくった。10月、11月を自治会加入促進の強化月間として、1自治会あたり3世帯の増加を目指すスリーゲット作戦の展開をしていただいたり、栃木SCのサッカー観戦に自治会の会員を招待させていただいたりして、自治会加入の必要性をしっかりと知っていただくとともに、自治会に加入していただけるような様々な策を取っている。自治会活動に一生懸命参加している方にとってはまだまだ不満だと思うがこれからも自治会連合会と力を合わせて加入促進に向けて頑張っていくとともにまじめにやっている人が報われる環境を併せて作っていききたいと思う。

発言 4 御幸が原小学校への防火水槽の設置について

御幸が原小学校に防火水槽を設置していただきたい。現在、御幸が原小学校の近隣は住宅がかなり広がって来ている。もしもの時に水の確保が防災対策上不可欠なので、自然水が少ないことを考慮して設置を検討していただきたい。

回答 所管課：消防本部警防課

【市長】

宇都宮市では、阪神淡路大震災を契機に大地震発生時に備え、平成8年から市街地における防火水槽整備を計画的に進めている。

御幸が原小学校を含む区域は、既に整備が完了しており、御幸ヶ原地区全体においては、9基の防火水槽が既に設置をされているので安心していただけたらと思うが、震災時などの消火活動においては、防火水槽だけではなく、御幸が原小学校のプールも活用し、対応させていただきたいと思う。

発言 5 溢水対策について（2）

貯留槽代わりに、公民館の辺りの場所から管が入っている。貯まった雨水を日常くみ出すための配電盤が公民館のところにあり、何インチのポンプで組んでいるのかわからないが、天気の良い時に自動的にポンプがくみ取る量は毎分何トンになるのか？

御幸ヶ原のために市が水貯めを作ってくれたが、全部くみ切らないうちに雨が降るので泉屋の前あたりで噴出しているのでくみ出す量を調べてもらえないか。

回答 所管課：下水道建設課，下水道管理課

【市長】

雨水管があり、そこに水が一時溜まるような貯留施設となっていて、調整しながら溢水

しないようにしているが、それでもゲリラ豪雨の時には溢水する。天気がいい時には先に吐き出させることをしたらどうかということだと思う。

【土木管理課長】

ポンプ能力に関しての資料を持ち合わせていないので、後でお邪魔してどういう状況になっているのかを話させていただきたい。

【後日対応】

4月30日に御幸ヶ原公民館にて発言者、連合自治会長ほか4名へ説明し、了承を得た。
内容

- ・当地区は、雨水を一時貯留（約2,000立方メートル）するための施設を整備し、平成18年度から供用開始している。
- ・ポンプ口径は150ミリメートル（6インチ）が2台設置されており、ポンプ1台あたりのくみ出し量は毎分1.68立方メートル
- ・雨水管渠に貯留された水をくみ上げる時間は約半日程度
- ・ポンプ運転記録を確認したところ、2台のポンプは正常に稼動しており、能力通り吐出水量も確保されている。

発言 6	自転車専用道路について
-------------	--------------------

宇都宮は自転車のまちということで全国に売り出しているが、自分もたまにロード用自転車で走る。自転車専用道路を走るのは気持ちいいが砂利や小石が多い。遠くから来る方も走ると思うが、パンクすることが多いので難しいと思うが清掃など細かい気配りをお願いしたい。県道、国道など、歩道のある道路がたくさんあるが、その歩道も小石や砂利が多く危険でありロード用自転車では走れない状態が目立つので考慮していただきたい。

回答	所管課：道路保全課、観光交流課
-----------	------------------------

【市長】

自転車のまちと言うことで、ジャパンカップサイクルロードレースは国際自転車連合の認定する上位カテゴリーであるオークラス（Hors class）にレベルが上がり、世界からも注目されている。また、先日行われた、大通りを周回するクリテリウムも反響を呼んでおり注目度は大変高い。

指摘のとおり、自転車が走りやすい環境も公共交通整備と併せて行い、自転車専用通行帯は日本の中では一番整備率が高く、現在も整備を進めているがまだまだ行わなければならないし、交差点改良もやっていきたいと思う。

ロード用自転車はタイヤが細く、空気がパンパンに入っているタイヤなので、砂利1つで転んでしまう。自分もロード用自転車に乗って初めて気が付いたが、そういう環境を整えることも自転車のまちの名を汚さないというだけではなく、安全安心の問題でもあるので、しっかり対応したいと思う。道路保全課だけでは整備できないと思うが、砂利等を出るだけ少ない環境づくりをしていきたいと思う。

発言 7 河内生涯学習センターへの舞台施設の設置要望

我々は、民謡やカラオケなど舞台を使うサークルで活動している。河内生涯学習センターを使っているが、建て替えがあるという話を聞いた。地域には施設がないので田原コミュニティセンターなど河内地区の施設を利用するが、今度新しく出来る施設には舞台装置がないという話を聞いている。要望だが、今までどおり、舞台があるような施設をつくってほしい。

回答 所管課：自治振興課，生涯学習課

【市長】

河内自治センターと河内生涯学習センターは老朽化したので合築して1つの施設として作り直すことになっている。舞台施設やエレベーターの設置の要望など様々な意見を今いただいているところなので、そうした意見をまとめる委員会を設置し、そこで意見調整をさせていただいている。いただいた話は委員会に伝えたいと思う。

発言 8 御幸ヶ原通りの表示看板の設置について

御幸ヶ原通りの南側，国道4号線から岩曾町に抜ける新しい道路が出来たが，その入り口に「御幸ヶ原通り」であることを示す看板を作って欲しい。

回答 所管課：土木管理課

【市長】

安全に看板等が設置できる場所を探し，場所がある場合は簡単なので市で対応していきたいと思う。まずは現場を見たいと思うので時間があれば立ち会っていただきたい。

【後日対応】

平成26年7月28日（月）に御幸ヶ原公民館で申出人ほかと面談し，御幸ヶ原通りの看板設置位置，及び設置時期について説明した。